

役員選出に続き、今年度の活動内容について協議 を行いました。10人の委員の皆さんと遠藤教育長

### 新体制で文化財保護に取り組みます 文化財保護審議会

今年度初めての『飯舘村文化財保護審議会』が、6月17日、交流センター「ふれ愛館」で開かれ、遠藤哲教育長が、新委員に、委嘱状を手渡しました。新しい委員は、多田仁彦委員長(宮内)をはじめとする村民委員8人に、学識経験者として『村田町歴史みらい館』館長の石黒伸一朗さん(仙台市)、『みちのく民俗文化研究所』代表の岩崎真幸さん(相馬市)の2人を加えた10人です。任期は令和4年度までの2年間で、文化財の保存などについて、意見を交わします。



飯樋町行政区で開かれた役員会では、新しいコミュニティー担当職員との顔合わせが行われました

# 全職員で地域の魅力を発掘! 新コミュニティー担当制度

今年度から、各行政区をサポートする『コミュニティー担当制度』が新しくなりました。行政区と村をつなぐパイプ役に加え、職員が「ふるさとの担い手」の一員として行事やイベントを楽しみ、地区を盛り上げることを新たな目的に、任期付職員を含む103人が各行政区のコミュニティー担当職員となりました。また今年度は、行政区の5年間の計画づくりやその計画に沿った取り組みを支援する『みがきあげよう! ふるさと補助金』も創設されています。これらの制度については、来月号で詳しく紹介します。



緑の芝を白いフェンスが囲むわんこの庭。出入り 口の看板の注意書きを守ってご利用ください

## オープンが待ち遠しい! 『わんこの庭 のびのび』

7月17日、『ふかや風の子広場』の東側に、いいたて村のドッグラン『わんこの庭 のびのび』がオープンします。『いいたて村の道の駅までい館』や『ふかや風の子広場』と同じ、『深谷復興拠点』に整備された新施設。愛犬と暮らす方は、ぜひ一緒に訪れて、のびのびと休日を楽しんでください。利用する際は、道の駅のレジで利用者証を受け取り(1頭500円)入場します。利用後にレジで利用者証を返却すると、引き換えに『道の駅までい館』利用券(500円分)が受け取れます。

### 販売と利用を開始! いいたてプレミアム付商品券

6月1日、地域経済の活性化を目的とする『いいたてプレミアム付商品券』の販売開始に伴い、セレモニーが行われました。今年は限定1万5,000冊の販売。1冊1万円で、1万5千円分が購入できる、とてもお得な商品券です。髙橋副村長は、「コロナ禍でも頑張る事業所へ、少しでもエールとなるよう活用してほしい」と期待を述べました。

販売開始から1時間程で、すでに約20人が購入に訪れ、6冊まとめて購入する方が多く見られました。



セレモニーは飯舘村商工会館前で行われました。 写真は、購入者と関係者による記念撮影の場面

#### ご支援をありがとうございます 寄付をいただきました

ハヤシ製作所(臼石)から村に100万円の寄付をいただきました。林武志社長が6月11日に来庁し、杉岡村長に寄付の目録を手渡しました。今年で45年目を迎えたハヤシ製作所。「働き手の確保が難しい時期もあったが、ここまでやってこられたのも村の力が大きかったから。元気で働く姿をこれからもPRしていきたい」と林社長は話します。杉岡村長は、「村内企業が元気に頑張っている姿は、村にとってもありがたいこと。今後も躍進を続けてほしい」と、感謝と期待を述べました。



林社長(右)が杉岡村長に寄付の目録を手渡しま した。村も企業も、前へ進み続けます

## 今年もやります 生涯学習事業「オカリナ教室」

6月10日、交流センター「ふれ愛館」で、今年度 初回の「オカリナ教室」が開催されました。昨年度 に引き続き、生涯学習課の職員・大森真が講師を 務めます。「楽しい」という声が多数寄せられ、昨 年から継続して参加する方も多い事業です。基 本的な演奏方法から学ぶことができるため、初め ての方でも安心して参加できます。この日は、「た なばたさま」「キラキラ星」の2曲を演奏しました。 2回目以降からの参加も可能。文化祭に出演する ことを目標に、練習を重ねていきます。



感染症対策を徹底しながらの開催。心の癒しになる オカリナの音色。ゆったりとした時間が流れます